

ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、言語、政治、経済、文化などの学習に意欲的な人。そして、学んだことを生かして、国際的な仕事につきたい人。



ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で8700万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム Dai gia dinh Viet Nam」を正に体现する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合っ一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3、4年生の授業では、ベトナム人と日本人と一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいなが常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客hieuh khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしよう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科学の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思う Uong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随え Nhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく嬉しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さん Nhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン チャーウ カーック バーン」

Xin chào các bạn!

学生の声



2年 藤尾 悠

Xin chào các bạn! みなさん、こんにちは！私たちベトナム語専攻の自慢はなんといってもその仲の良さ！ベトナム語専攻だけの顔合わせ会や試食会、語劇に追いコンなどなど...アットホームな雰囲気、学年問わず、教授陣も含め、みんなが楽しめる行事が目白押しです。また、秋にはベトナム語スピーチコンテストがあります。東京外国語大学や神田外国語大学など、全国からベトナム語を勉強する学生が東京に集い、競い合います。そこでは、日本でベトナムに関わっているひとがたくさんいるということ、そして他大のライバルたちの意識の高さを実感させられます。そこで受けた刺激は、その後の学生生活を大きく変えてくれるものになりました。

また、春休みには、同回生みんなまでベトナム旅行に行ってきました！一歩ベトナムに足を踏み入れば、経済発展をうかがわせる活気と熱気！！短期間の旅行ではあったものの、私たちはそれを直接身体で感じる事ができました。1年間教授の元でベトナム語を勉強したことで値切り文化が根強いベトナムで、商品を値切れるまでに成長しました。

ベトナムという国は、儒教の考え方が根付いている国でもあります。そのため、とても義理堅いのです。仲良くなれば友のためにとことん力を尽くしてくれるようになります。その関係はまさに本物の家族のようです。

是非みなさんも私たちの gia đình (家族) になりませんか。

それでは真面目なキャンパスでお待ちしています。

Hẹn gặp lại



留学体験記



3年 吉野 絵莉
4年 小島 悠紀

私たちはベトナムの首都ハノイに一年間留学をしました。1日3時間、週5日、マンツーマンの授業を受けていました。授業はすべてベトナム語で行われるので、とても力がつきました。学校帰りにはよく xe ôm (セーオム) と呼ばれるバイクタクシーを利用していました。行き場所を伝え、値段交渉をして、おじさんのバイクの後ろに乗っかる。日本ではありえない事ですが、ベトナムではごく普通のことです。バイクのクラクションが鳴り響く中をセーオムのおじさんと楽しく会話をしながら帰るのも、とても充実した時間の一つでした。

勉強以外にも、日本では得られない体験ができます。私はベトナム語の書道を学びました。現代のベトナム語はアルファベットですが、古くは漢字を使用しており、書道にも親しんでいました。現代ベトナム語の書道に関心を持ち、書道家さんのところに弟子入りしました。日本人は誰もおらず、言葉も常識も異なる空間で新しいものを学ぶのは大変でしたが、最終的には、大きなコンクールに出品したり、書道イベントに参加したり、メディアの取材を受けたりと、日本人ではあるけれど、ベトナム人と同じフィールドで扱ってもらえるようになりました。

阪大ベトナム語専攻では、他専攻より留学をサポートする環境が整っています。さらに、留学を通して上記のような経験や、人との出会いがたくさんあります。みなさんも、ぜひベトナムに留学して世界に羽ばたいて下さい。

